

もくじ

- 2 “連載コラム Vol.6”
- 3 議会傍聴の感想（西南中学校）紹介
- 4 12月定例会概要、議案審議質疑
- 7 一般質問
- 13 議会報告会実施結果・次回告知
- 14 常任委員会等の活動報告
- 16 ちょっと一言、編集後記ほか



花巻市消防出初め式（令和2年1月12日）

はなまき市議会だより

花の風

第61号

令和2年2月1日



「おだやかな革命」上映会に取り組んで



大迫での「おだやかな革命」上映会

地球温暖化を話し合う国際会議「COP25」で、ドイツの環境NGOは、去年1年間で異常気象により世界で最も深刻な影響を受けたのは、記録的な豪雨や猛暑に見舞われた日本だったとする分析を発表し、温暖化対策の強化を呼びかけました。

分析では死者数や経済的な損失等をもとに行なったということで、西日本を中心に広い範囲で大きな被害が出た西日本豪雨や、「非常に強い」勢力を維持したまま上陸した台風21号、そして埼玉県熊谷市で、41・1度と国内での観測史上、最も高い気温を記録するなど猛暑に見舞われたことを理由に挙げています。温暖化の問題は、私たち一人ひとりが考えていかなければならないし、国も対策を明確に打ち出すべきと考えます。

私は自然エネルギー・地域づくりをテーマにしたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」上映実行委員会を組織し、取り組みました。令和元年5月に花巻市文化会館において2回上映し220名の方が、また同年10月には大迫交流活性化センターにおいて大迫高校の生徒と一般の方59名の方に鑑賞していただきました。花巻市に、自然エネルギーやまちづくりについて関心を持っている若者がいることを実感しました。

映画では、岡山県西栗倉村で、地域の間伐材を使って若者が起業し、見向きもされなかった森林が地域

の温泉施設の熱源になり、美しい家具が誕生し、地域のつながりを強めていることが描かれています。また、岐阜県郡上市にある約100世帯の小さな集落「石徹白^{いとしろ}」では、伝統的な文化や暮らしを大切にする移住者を起点に、地域に残る農業用水路で小水力発電事業が立ち上がり、そこで地域の価値に気づき始めた地元住民との新しい未来作りが始まっているという内容です。

鑑賞した方の感想として、大迫町の地域おこし協力隊として活動している一人は、「今日の上映会では地方で自ら行動している人の姿を拝見し、とても眩しく感じました。あんな風に一本筋を通して地域のために力を尽くすのにはどうすべきかしっかり考えたい」と語りました。

また、ある高校生は、「他の土地から移住してきた人に刺激され、地元の人たちも行動し、失われつつあった熱意がよみがえってきたところに感心した。今後人口が減っていく中で自分たちが行動していかないとどんだん地方が衰退していくと感じ、『おだやかな革命』で取り上げられた事例は参考になった」と述べています。

今回、花巻市の若者の「おだやかな革命」を鑑賞しての感想が非常に素晴らしいと感じました。若者と意見交換する機会を設け、多くの高校生から寄せられた感想を皆さんに紹介したいと思います。

「おだやかな革命」上映会は、今後も引き続き実施したいと考えています。

(広報広聴特別委員会委員 若柳良明)

中学生に市議会は どのように見えた？

今年も西南中学校3年生の皆さんが、12月定例会の一般質問を傍聴されました。近年、西南中学校3年生の恒例となっております。

受験を控えた中学3年生の目に、議会の姿はどのように見えたのか、傍聴しての感想が寄せられましたので、いくつか紹介します。



やえがし まい 八重樫 真衣 さん

今回、私は初めて市議会を傍聴しました。始めは、先生に「昨年先輩はこういうことを聞きましたよ」といろいろ例を出してくれて、その例が建物や公共施設だったので、そのような話を主にしていくのだと思っていただけ、実際は台風や防災

のことなど、幅広いお話をされていてとても驚きました。話の内容がとても濃いもので難しかったけど、また機会があれば行ってみたいと思いました。



へらい かずき 戸来 和生 さん

議員の皆さんが、市民のために今の現状や課題について、全力で質問や答弁してくれるのがありがたいなと思いました。台風19号でリンゴの被害が61ヘクタールで、ダメになったリンゴが何千個もあったと思うけどジュースにしたり、訳ありリンゴとして売っているのが分かりました。自分ももっと花巻市について知りたいです。



ささき りゅうた 佐々木 琉汰 さん

1つの質問に1時間使うことに驚きました。慎重に進めているのを見て、花巻市をより良くするために時間を有効に使っているなと思いました。今日の議会の内容は難しくついていくことができませんでしたが、市議会を傍聴するという貴重な機会があつて良かったです。



おばら るう 小原 瑠桜 さん

私にはまだ少し早いと思ったけれど、体育館など普段私たちが使っているところからお世話になるであろう公共施設のことについて考えてもらえているのは嬉しいことだと思った。議員の人たちは、毎回あんな風に私



さと う まき 佐藤 真希 さん

ちの生活と未来のため話し合いをしているのだと知れて、そしてそれを自分の目で見れたのは本当に良かったと思う。

最初に女性の議員さんが少ないこと、予想していたよりも質問者の質問内容の数が多いという印象を受けました。議会を傍聴する機会はないかなと思うのでとても良い経験となりました。台風19号の被害への支援を積極的に行っているということが分かりました。回避勧告などにはホームページやTwitterなどのSNSを利用したものもあり、市でも情報伝達がグローバル化しているなと感じました。その反面、花巻市には高齢者だけで生活をしている家庭も多いことから、特に室内にいる高齢者への情報伝達の方法として、



まちなか めい 町中 芽衣 さん

ラジオの普及やテレビでの呼びかけを積極的にやっていることが分かりました。

難しい言葉や表現がたくさんあつて分からないところもあつたが、この市議会でも私たち花巻市民の生活のためにさまざまな話し合いが行われているんだと思うと、とてもありがたみを感じました。1つの質問からすぐたくさんさんの意見が出ていて、私たちも話し合いの場ではこのような話し合いにしたいと思いました。



たかはし まんき 高橋 円迦 さん

実際に傍聴してみると、国会の議員よりもずっと身近なことを議論してい



へらい ゆうたろう 戸来 悠太郎 さん

て、こうやって花巻市の方針は決まるんだと思いました。環境についての取り組みは、温暖化への対策も兼ねて行っていることが分かって、市町村で取り組むことはとても重要だと感じました。身近なことで、話し合っている内容がよく分かったので傍聴が楽しく感じられました。また機会があれば行ってみたいと思いました。

もう少しガヤガヤしているのかなと思っていたけど、静かに淡々と進んでいて、少し驚きました。防災についての話を聞いて防災士というのを初めて知りました。花巻のことについて真剣に話を聞いてすごいなと思いました。また機会があつたら参加したいし、自分の住んでいる地域をさらに知りたいです。

避難行動要支援者名簿に関する 条例を可決

12月定例会は12月6日から19日までの14日間の日程で開かれました。初日の本会議では、提出議案について説明がなされたほか、市長による行政報告が行われました。

9日から11日までは、一般質問に15人が登壇し、市政について質問したほか、12日には議案審議が行われました。

提出された議案の中で、花巻市第1号会計年度任用職員の報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例や、花巻市避難行動要支援者名簿に関する条例など38件が原案どおり可決されました。

また、最終日の本会議にはイーハトーブ花巻応援寄付金の推進を盛り込んだ令和元年度花巻市一般会計補正予算(第4号)が追加提案されました。

主な議案や質疑は次のとおりです。

花巻市避難行動要支援者名簿に関する条例

可決

要旨… 平常時の見守りや災害時の避難支援等が円滑に実施されるよう、避難行動要支援者名簿を、本人から拒否の申し出がない限り、平常時から自主防災組織や民生委員、関係機関等に提供できるようにするもの。

質疑

- 質問… 名簿の提供について苦情があった場合の所管はどこになるのか。
答弁… 総合政策部防災危機管理課で苦情対応を行う。
- 質問… 自ら避難が困難な方は、自宅から近い避難所もしくは福祉避難所も事前に定めるべきではないか。
答弁… まずは個別避難支援計画を作成し、その過程でさまざまなサポートを検討していく。
- 質問… 名簿を年に2回以上更新するとあるが、いつになるのか。
答弁… 名簿の更新は、4月と10月の年2回行っている。

花巻市立保育所設置条例の一部を改正する条例

可決

要旨… 学校法人に運営を移行するため笹間保育園を、児童数の減少のため浮田保育園をそれぞれ廃止しようとするもの。

質疑

- 質問… 笹間保育園において、引き継ぎ保育の実施状況は。
答弁… 現在、引き受け先の法人より保育士3人が配置され、順調に引き継ぎがなされている。
- 質問… 今後の公立保育園の民営化の方向性は。
答弁… 来年度において次の再編指針を策定し、さらなる民営化が可能か検討していく。

財産（花巻市立笹間保育園）の無償譲渡に関し議決を求めることについて

可決

要旨 … 花巻市立笹間保育園の民営化に伴い、市所有の園舎を学校法人笹間学園に無償譲渡しようとするもの。

質疑

○質問 … 譲渡する財産の価値はどのくらいなのか。また、土地については賃貸か。

答弁 … 本年度末の時点で770万円ほどになる。また、土地については無償貸し付けとなる。

花巻市第1号会計年度任用職員の報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例

可決

要旨 … 会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、第1号会計年度任用職員の報酬・期末手当及び費用弁償に関し必要な事項を定めようとするもの。

質疑

○質問 … 非常勤・臨時的任用職員から会計年度任用職員に移行する際、勤務条件等で不利益が生じることはないのか。

答弁 … 市の業務を遂行するうえで重要な役割を担っている職員であり、待遇に大きな変化はない。総務省でも会計年度任用職員に伴う予算を計上することを検討している。

花巻市第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例

可決

要旨 … 会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、第2号会計年度任用職員の給与等に関し必要な事項を定めようとするもの。

質疑

○質問 … 会計年度任用職員の期末手当の基礎額が、100分の130から100分の25になると大幅な削減になるのではないのか。

答弁 … 100分の130は正規職員の期末手当の支給率であり、会計年度任用職員は6月と12月期にそれぞれ100分の25となるものである。

令和元年度花巻市一般会計補正予算（第3号）

可決

要旨 … 歳入歳出予算の総額に2億3,581万2千円を追加するもの。主な内容は、人事院勧告に伴う人件費の整理のほかイーハトーブ花巻応援寄付金の推進、生産施設等整備事業など。

質疑

○質問 … 道の駅はなまき西南の管理運営会社への出資状況について伺う。

答弁 … 発起人を含めた地元の方から1,636万円、他に花巻市500万円、花巻農業協同組合200万円がそれぞれ予定されている。

令和元年度花巻市国民健康保険特別会計補正 予算（第1号）

可決

要旨 … 400万4千円を追加し総額82億2,575万5千円とし、マイナンバーカードによる資格確認のためシステム改修に係る予算の補正を行うもの。

質 疑

○質問 … 保険証以外に保険資格の確認をマイナンバーカードでも可能とするものか。

答弁 … 令和4年度をめぐり、医療機関においてマイナンバー読み取りシステムの整備を進めていく。

賛否が分かれた議案および請願等の審議結果

| 議案番号 | 議 案 名 |
|------|------------------------------------|
| 81 | 花巻市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例 |
| 82 | 花巻市第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例 |
| 91 | 花巻市立保育所設置条例の一部を改正する条例 |
| 116 | 財産（花巻市立笹間保育園）の無償譲渡に関し議決を求めることについて |
| 118 | 令和元年度花巻市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） |
| 請願13 | 給食副食費（材料費）の助成を求めることについて |

| 議案番号 | 市民クラブ | | | | 明 和 会 | | | | 花巻クラブ | | | | 平和環境 市民クラブ | | | 日本共産党花巻 市議会議員団 | | 会派に所属 しない | | 審議結果 | | | | | | | |
|------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------------|---------|----------|-------------------|----------|--------------|----------|------|-----------|----------|---------|-----------|----------|---------|-----|
| | 横田 忍 | 佐藤 現 | 伊藤 盛幸 | 高橋 修 | 瀬川 義光 | 内館 桂 | 鎌田 幸也 | 佐藤 峰樹 | 盛岡 耕市 | 藤原 伸 | 伊藤 源康 | 藤原 晶幸 | 羽出 み子 | 佐藤 明 | 本館 憲一 | 近村 晴男 | 照井 省三 | 若柳 良明 | 阿部 一男 | | 久保 田彰孝 | 照井 明子 | 櫻井 肇 | 菅原 ゆかり | 藤井 幸介 | 大原 健 | |
| 81 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 82 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 91 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 116 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 118 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 請願13 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 不採択 |

○は賛成、●は反対、—は自主退席。議長は表決に加わりません。上記以外の議案は全会一致で可決。

お詫びと訂正

花巻市議会だより第60号の13ページに記載している「生活保護費」の答弁内容に誤りがありました。お詫びし、訂正させていただきます。

（訂正前）

整骨院等については、国からの基準が示されており、病院からの紹介状を持つたうえで受診をしていただく。

（訂正後）

打撲や捻挫、脱臼や骨折の応急処置をする場合は医師の同意は不要であり、そのまま整骨院等での受診が可能である。按摩マッサージや、はり・きゅうについては医師の同意が必要であり、紹介状を持つたうえで受診していただく。

12月定例会 一般質問

12月定例会では、15人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

| 令和元年第3回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順） | |
|------------------------------|---|
| 鎌田 幸也 議員 (市民クラブ) | ①台風19号の対応について ②地域の防災活動について |
| 佐藤 峰樹 議員 (明和会) | ①放課後児童健全育成事業について ②防災対策について |
| 本館 憲一 議員 (花巻クラブ) | ①公共施設マネジメント計画について ②新花巻図書館の整備について ③花巻駅の橋上化・自由通路構想について |
| 若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ) | ①会計年度任用職員制度について ②包括業務委託について ③職員体制について |
| 久保田 彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①台風19号による農業被害について ②はなまき産業大博覧会について ③消費増税の影響について |
| 横田 忍 議員 (市民クラブ) | ①体育館の利用状況について ②林業振興について |
| 佐藤 明 議員 (花巻クラブ) | ①遊休農地について ②市庁舎について |
| 阿部 一男 議員 (平和環境社民クラブ) | ①総合花巻病院の移転整備について ②農業問題について ③新花巻図書館の整備について ④博物館所蔵の図書・美術作品について |
| 照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①災害対策について ②教職員の働き方改革について |
| 内館 桂 議員 (市民クラブ) | ①県立東和病院について ②養護老人ホームについて ③東和地域の予約応答型乗合交通について |
| 羽山 るみ子 議員 (花巻クラブ) | ①旧料亭「まん福」について ②自然エネルギー(再生可能エネルギー)について |
| 櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団) | ①会計年度任用職員について ②包括業務委託について ③県立東和病院の存続について |
| 近村 晴男 議員 (花巻クラブ) | ①ブドウ栽培の支援体制について ②大迫中心商店街の振興策について |
| 菅原 ゆかり 議員 (会派に属さない) | ①子宮頸がん予防ワクチンの接種について ②独居高齢者の終活支援について |
| 藤井 幸介 議員 (会派に属さない) | ①公共工事の平準化について ②マイナンバーカードの普及について |



プレミアム付き商品券

申請必要なしの対象子育て世帯は2066人。非課税者の交付申請率は45.4%、引換券送付数は8462人。11月30日までの販売実績は3万1544冊、購入可能な5万2640冊の59.9%。商品券使用期間は令和2年2月29日までとなっている。

A 市長

プレミアム付き商品券の申請および販売状況について伺う。

Q 久保田 彰孝 議員

プレミアム付き商品券

台風被害

Q 鎌田幸也 議員

台風19号の強風により果樹被害が多く発生したが、その被害状況と被災農家への支援策について伺う。

A 市長

リンゴの落果等が61ヘクタール、洋ナシの落果等が0.15ヘクタール、平均で20から30%の被害となっている。リンゴの落果等は国や県の支援対象となっており、農業共済への加入の有無の違いがあることから、市独自の支援策は現在検討していない。なお、農業共済組合では、共済金の早期支払いに向けて算出を進めており、農協ではリンゴのジュースへの加工などに支援をするなど伺っている。

Q 久保田彰孝 議員

台風19号により被害を受けた農家の農業共済の加入率について伺う。

A 市長

果樹共済への加入面積は約43%、園芸施設共済の加入率は78%。1月から12月までの農業収入が、基準収入の9割を下回った場合に補填される収入保険制度への加入は少なく、今後、従来の共済制度と合わせて、周知や加入の促進を図る。



台風19号で被害のあったリンゴ園

新花巻図書館

Q 本館憲一 議員

新花巻図書館の建設場所の検討状況と今後のスケジュールについて伺う。

A 市長

旧3町や郊外からも来やすく分かりやすい場所として、花巻駅東口のJR所有地を最適と考えており、賃貸の方向で同社と協議中である。調整がつき次第、協定を結んで具体化を進めたい。

Q 阿部一男 議員

新花巻図書館整備にあたり、市公共建築物等木造利用促進基本方針により、地球温暖化防止、農山村地域活性化のために木造化とする構想はないか伺う。

A 市長

近年では、大迫中学校改築事業において校舎棟および屋内運動場の木質化を図っている。可能な限り木造化を推進しているが、市内には木材加工業者がなく、県北に運んで加工を依頼しているため建築材料費が高額になり、コスト面において慎重に検討しなければならぬと考えている。

花巻駅橋上化

Q 本館憲一 議員

花巻駅の橋上化・自由通路構想の検討状況について伺う。

A 市長

自由通路の構造や規模、事業費等JRと定期的に協議を進め、全体スケジュールや概算事業費などの説明をいただいた。その内容を精査し予算や規模・機能等が身の丈にあったものができるか見直し作業をお願いし、ある

旧料亭「まん福」

Q 羽山るみ子 議員

まん福は昭和の香り漂う古き良き時代を思いおこす文化的・歴史的価値ある建物だが、市の認識を伺う。

A 市長

まん福は、屋久杉や黒檀など吟味された建材を使用し、化粧格子窓など建築各部の意匠においても多様性が見受けられ、数少ない建造物であるが、市文化財保護審議会からは文化財指定候補等の意見はない。

防災対策

Q 佐藤峰樹 議員

国では平成28年4月に避難所運営ガイドラインを作成しているが、災害の状況を踏まえた本市のガイドライン作成の必要性について伺う。

A 市長

避難所運営マニュアルは平成23年に策定しているが、今回の避難状況を受けトイレの洋式化や授乳スペース確保など、高齢者や女性に配慮した国のガイドラインを参考に策定していく。

消防

Q 照井明子 議員

救急出動の増加や災害の激甚化に伴い、消防職員の増員が必要と考えるが見解を伺う。

A 市長

本市の条例では消防職員は148人と定められている。平成31年4月現在では146人であり、消防団活動支援員および火災予防支援員を非常勤で採用している。

平成30年度においては救急出動が4128件であり、高齢化の進展や周産期医療の集約化、災害の激甚化に伴い、増員は検討していかなければならないと考えている。



緊急出動に備え、毎朝車両点検

防災士育成

Q 鎌田幸也 議員

市内で防災士の認証登録をしている方がどれくらいいるのか、認証取得のための支援策について伺う。

A 市長

市内の防災士認証登録者数は本年10月31日現在で139人である。市では平成30年度から毎年10人、3年間で30人の防災士を養成している。27コミュニティ全てに防災士がいる状況をつくるため、資格取得に要する経費の全額の補助金を交付する育成事業を行っており、昨年度5人がこの事業を活用して資格取得した。また岩手県では、独自の防災士養成研修を実施しており、本市から9人が受講し全員合格した。

総合花巻病院

Q 阿部一男 議員

現在休診している小児科、眼科、皮膚科の医師確保と市内で1カ所しかない耳鼻咽喉科の見直しについて伺う。

A 長井副市長

10月から整形外科に常勤医師1人が加わり、12人体制となっている。耳鼻咽喉科については非常勤医師による週3回の診療を行うが他の科については専門医の不足により確保できていない状況である。



3月開院予定の総合花巻病院

県立東和病院

Q 内館 桂 議員

厚生労働省が再編統合の議論が必要とする分析結果を公表した中に県立東和病院が入っていたが、存続に向けた市の対応を伺う。

A 市長

県立東和病院は、地域住民の医療を支える一方、回復期患者の入院を受け入れるなど、地域にとって重要な医療機関であると受け止めている。

岩手県では、県立東和病院はすでに回復期病床に転換済みであり、今回の再編統合の検討対象とはならないと説明しているが、今後とも国の動向を注視していく。

農業

Q 近村 晴男 議員

ブドウとワインの振興のためにも、葡萄が丘農業研究所の職員体制の充実を図るべきと考えるが、どのように捉えているか伺う。

A 市長

現在、職員は所長と就農者技術支援員の2人であるが、新規就農技術指導員、集落支援員を配置し、指導支援体制の充実を図っていくなど、今後さらなる充実を検討していきたい。



ワインの里大迫にある「葡萄が丘農業研究所」

遊休農地

Q 佐藤 明 議員

遊休農地の面積の推移について伺う。

A 農業委員会会長

令和元年7月の遊休農地は、全体で34.6ヘクタール。地区別では、花巻が15.1、大迫が1.5、石鳥谷が14.3、東和が3.7ヘクタールとなっており、平成21年度と比較して4倍となっている。特に増加が著しい地区は花巻と石鳥谷である。

林業振興

Q 横田 忍 議員

森林林業の再生に向けた取り組みについて伺う。

A 市長

国は本年4月から森林環境譲与税を施行。本市は将来を見越して

譲与される税を森林林業の再生に向け、スマート林業の構築、森林経営の推進、人材の確保育成、里山整備の4項目を重点に方策を講じている。

教職員

Q 照井 明子 議員

国で議論している1年単位の変形労働時間制に対する見解を伺う。

A 教育長

令和3年度から自治体が条例や規則を定め、学校に1年単位での変形労働時間制を導入できるようになり、夏休み等の長期休業中に休日のまとめ取りが可能となる。労働時間を勤務実態と合わせることで、一方、繁忙期の勤務時間が長くなることで、さらなる多忙化を招く懸念もあり、導入に当たっては慎重に検討するべきであると考えている。

学童クラブ

Q 佐藤 峰樹 議員

今年度8人の待機児童数となっているが、来年度の見込みはどうか。また、待機解消に向けてどのように取り組むか伺う。

A 教育長

8人の待機理由は、関係条例の施設面積要件に満たないことによるものである。来年度の待機見込みは現在、ニーズ調査の結果をもとに精査中であり、待機となる施設へは学校施設の使用や、施設の増築を検討していく。



整備が望まれる学童クラブ

体育館利用状況

Q 横田 忍 議員

利用者の内訳および減免状況について伺う。

A 市長

平成30年度の利用状況は、総合体育館の市内利用者13万6456人、市外利用者3万8409人。市民体育館の市内利用者6万9942人、市外利用者2266人。大迫・石鳥谷・東和体育館の市内利用者5万4502人、市外利用者6799人。全体の市内利用者の割合は約85%である。使用料減免額は総合体育館が約881万円、市民体育館が約181万円、大迫体育館が約20万円、石鳥谷体育館が約30万円、東和体育館が約31万円となっている。

商工観光

Q 近村 晴男 議員

古い町の雰囲気を残していくためにも、大迫中心商店街の建物の保全および改修等に対する支援を検討するべきと考えるが、見解を伺う。

A 市長

大迫総合支所が中心となって建物の調査、活用策を検討したが、市職員の調査では限界がある。今後専門家による建物調査を再度行うことを検討する。



趣を感じさせる大迫中心商店街

自然エネルギー

Q 羽山 るみ子 議員

災害時に夜間の避難所への移動は、停電で足元が見えにくく大変に危険であるが、ソーラー街灯を設置する考えはないか伺う。

A 市長

市は避難時には懐中電灯等を持参するよう呼びかけている。ソーラー街灯は現時点では考えていない。今後、見直しする部分もあり、検討課題としていく。

包括業務委託

Q 櫻井 肇 議員

包括業務委託は、県内では陸前高田市が平成31年4月から実施されている以外に例がない。花巻市が導入する目的と理由を伺う。

A 長井副市長

市職員が、市民ニーズの多様化・高度化など業務量増加への対応が困難になってきている。一方で職員数を増やすことも、将来の人口減少や財政状況からみて厳しい。持続可能な行財政運営や、職員の業務力向上の体制を整えるため、定型的な業務を民間業者に委託することを検討しているものである。

Q 櫻井 肇 議員

包括業務委託では窓口業務は市職員以外が行うことになる。住民の個人情報流出する恐れはないか伺う。

A 長井副市長

個人情報を取り扱う業務を民間に委託する場合は、花巻市個人情報保護条例により厳正

市庁舎

Q 佐藤 明 議員

市庁舎の今後の利用年数について伺う。

A 市長

平成29年度に本庁舎本館の劣化度調査を実施したところ、建物本体は10年以上は問題ないとの報告を受けている。

公共施設マネジメント計画の基本方針に基づき、長寿命化を図っていきたいと考えている。



昭和45年建築の市役所本館

公共工事の平準化

Q 藤井幸介 議員

大規模工事以外における債務負担行為の活用について伺う。

A 市長

国から公共工事の平準化について、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき通知が令和元年10月にあった。今後、設計等の準備が整った工事については、債務負担行為を活用することも考える。



9月開業に向けて工事が進む道の駅「はなまき西南」

マイナンバーカード

Q 藤井幸介 議員

マイナンバーカード普及の取り組みについて伺う。

A 市長

マイナンバーカードは平成28年1月から市民登録課および各総合支所で受け付けし、令和元年10月末で、1万884枚交付をしている。そのうち再交付は51枚。人口に対する交付率は11.3%である。年代別交付率では、60歳代、70歳代が高く、若い世代の交付が低い傾向にある。

子宮頸がん 予防ワクチン

Q 菅原ゆかり 議員

子宮頸がん予防ワクチン接種の周知方法について伺う。

A 長井副市長

来年度より、小学6年生から高校1年生の対象者へ郵送等による個別の情報提供を行い、子宮頸がん予防ワクチン接種のメリットと、副反応などのリスクの両面の周知に努める。

人事

Q 若柳良明 議員

今年度の退職予定者と来年度の採用予定者数を伺う。

A 長井副市長

今年度の退職予定者数は、定年退職者17人を含め35人が見込まれている。来年度の採用予定者数は28人を予定している。また、1月から保育士の任期付職員の採用を6人予定している。

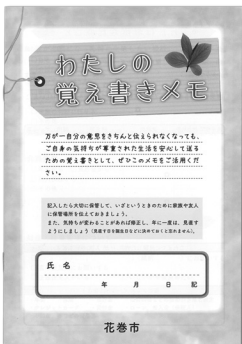
終活支援

Q 菅原ゆかり 議員

独居高齢者の終活支援の取り組みについて伺う。

A 長井副市長

エンディングノートを配布し、自分の希望や考えを書き記し安心して生きていくため身近な終活としての活用の普及啓発に努めている。本人の意思を基本に終活課題についての相談対応、協力関係機関との連携による支援など丁寧慎重に行っていく。



希望者に配布しているエンディングノート「わたしの覚え書きメモ」

養護老人ホーム

Q 内館 桂 議員

市内の養護老人ホームについて、定員を下回る利用状況であるが、その要因をどのように分析しているのか伺う。

A 市長

利用者の特別養護老人ホームへの入所、医療機関への長期入院等を理由とする退所者が年々増えている。また、在宅福祉サービスなどが充実し、在宅生活の維持が以前より可能になっている。

こうしたことにより、養護老人ホームからの退所者が入所者を上回っていることが要因と分析している。

しかしながら、地域包括支援センターなどの関係機関との連携をさらに強くし、対象者の見落としがないように努める。

令和初の“議会報告会”

令和元年10月23日から25日の3日間、市内15会場で議会報告会を開催しました。
 令和初の議会報告会で、今年度予定している27地区のうち15地区で開催し、来場者数は176人でした。次回の12会場の日程については下記のとおりです。
 当日いただいた皆様からのご意見・ご要望は、市の担当部署へ情報提供するほか、市議会としても調査・研究していきます。
 また、いただいたご意見等は、ホームページへの掲載や振興センターへ配布しておりますのでご覧ください。



市民と議会との懇談会【議会報告会】を開催します

- * 日時 令和2年2月10日(月)・13日(木)・14日(金) 18時30分から
- * 内容 議員との自由な意見交換、12月定例会の概要、常任委員会の活動報告

市議会の報告と市民の皆様からご意見などを伺う“市民と議会との懇談会”を下記会場で開催いたします。どの会場でも参加できますので、お気軽にご来場ください。

| 担当班 | 会 場 | | |
|-----|-------------|----------|--------------|
| | 2月10日(月) | 2月13日(木) | 2月14日(金) |
| A班 | 花北振興センター | 成島振興センター | 亀ヶ森振興センター |
| B班 | 矢沢振興センター | 好地振興センター | 湯口振興センター |
| C班 | 大迫交流活性化センター | まなび学園 | 東和コミュニティセンター |
| D班 | 新堀振興センター | 湯本振興センター | 花南振興センター |

担当班のメンバー

| A班 | B班 | C班 | D班 |
|---------|---------|---------|---------|
| 久保田 彰 孝 | 菅 原 ゆかり | 羽 山 るみ子 | 照 井 省 三 |
| 伊 藤 源 康 | 若 柳 良 明 | 横 田 忍 | 佐 藤 峰 樹 |
| 照 井 明 子 | 佐 藤 明 | 伊 藤 盛 幸 | 佐 藤 現 |
| 阿 部 一 男 | 盛 岡 耕 市 | 内 館 桂 | 高 橋 修 |
| 藤 原 伸 | 瀬 川 義 光 | 大 原 健 | 櫻 井 肇 |
| 鎌 田 幸 也 | 本 館 憲 一 | 藤 井 幸 介 | 近 村 晴 男 |
| | | 藤 原 晶 幸 | |

常任委員会等の活動報告

【総務常任委員会】

◇10月28日(月)～30日(水)

*行政視察

・長崎県大村市

「まちづくりについて」

・長崎県雲仙市

「定住促進対策事業及び空き家活用促進事業について」

◇12月13日(金)

*行政視察の振り返りについて

【文教福祉常任委員会】

◇11月5日(火)～7日(木)

*行政視察

・愛知県蒲郡市

「健康寿命の延伸について」

・奈良県奈良市

「小中一貫校について」

・京都府城陽市

「コミュニティ・スクールについて」

◇11月12日(火)

*所管事務調査

「学校と地域の連携について」

◇12月13日(金)

*請願審査

「給食副食費(材料費)の助成を求めることについて」

▽審査結果…不採択

◇1月22日(水)

*行政視察の振り返りについて

【産業建設常任委員会】

◇10月31日(木)～11月1日(金)

*行政視察

・岩手県八幡平市

「資源(地熱)を活用した農業・建設等の取り組みについて」

・青森県八戸市

「中山間地域の生産状況及び課題について」

・岩手県葛巻町

「新エネルギーを利用した建設・農業の振興について」

◇12月16日(月)

*所管事務調査

「観光振興の現状と課題について」

◇12月17日(火)

*開かれた議会づくりの取り組み(本会議等の録画配信の実施)について

◇12月17日(火)

【議会改革推進会議】

◇12月17日(火)

【市政調査会】

◇1月22日(水)

*研修会「成年後見制度について」

◇1月22日(水)

【市政調査会】

◇1月22日(水)

*研修会「成年後見制度について」

◇1月22日(水)

【市政調査会】

◇1月22日(水)

*研修会「成年後見制度について」

総務常任委員会

【長崎県大村市】

大村市の人口は、本市と同程度ですが、2005年以降、年間500人ほど緩やかに増加を続けております。

増加の要因は、出生数が死亡数を上回る自然増と、近隣自治体からの転入超過による社会増でした。

近隣自治体からの転入要因は、空港や高速道路の整備による交通アクセスの利便性向上と、子育て支援を主とした移住促進施策の充実があげられます。

本市も大村市と同様、交通アクセスに恵まれており、これらの利点を生かし、将来的に近隣自治体からの転入超過に結びつけることは十分可能であると感じました。

【長崎県雲仙市】

雲仙市は、移住・定住促進の取り組みとして「定住促進対策事業及び空き家活用促進事業」を実施しております。

空き家対策では、国の社会資本整備総合交付金等の基幹事業として空き家再生等推進事業の除却事業タイプを導入してまいりました。

これは、空き家の除去に要する費用の補助として上限額50万円を交付するものです。

本市では、除却事業タイプの導入はありませんが、参考とするべき点はあると感じました。

視察を終え、両市とも移住政策を中心に施策に取り組んでおり、若い世代の移住・定住に重点を置くことは本市も同様であり、少子化対策が急務であることを再確認いたしました。



(長崎県雲仙市)

文教福祉常任委員会

【愛知県蒲郡市】

蒲郡市は、生活習慣病等の医療費が年々伸びていることから、健康課題が市の財政に影響するとして、健康化政策全庁的推進プロジェクトを設置。体重管理がメタボ予防に効果があることを市職員で検証後、「体重測定1000日チャレンジ」を市全体に普及させ、健康レベルの底上げと環境づくりを行っております。また、市内の温泉施設を活用し、1泊2日の合宿型健康体験プログラムを実施するなど、市民に対して健康づくりを意識してもらうことで、健康寿命の伸び率にもつながっております。

【奈良県奈良市】

奈良市は、平成27年から市内全小中学校で小中一貫教育を実施。子どもたちの学習意欲と自己肯定感の向上、小学6年生の中学校進学への不安の減少など効果がある反面、校区の規模によっては小学校同士の連携が必要とのことでした。また、富雄^{とみお}第三小中学校を訪問し、施設一体型の良さとして

学びや人のつながりなど教育の充実が図られるが、人間関係が固定化されるといふ課題があるなど、参考にするべき先進事例でありました。

【京都府城陽市】

城陽市は、市内の全小中学校でコミュニケーション・スクール制度が導入されております。学校運営協議会制度については、評議員制度を緩やかに移行しており、どのような子どもに育てたいのかを協議会で話し合うことが大切ということでありました。本市でもコミュニケーション・スクールの立ち上げを予定していることから、今後の議論の参考にしてまいります。



(京都府城陽市)

産業建設常任委員会

【若手県八幡平市】

八幡平市は、地熱利用による農業・観光振興へ取り組み、雇用などに成果を上げています。基幹産業は農業ですが、高齢化といった課題も抱えており、解決策として地熱の熱水利用を開始。農業利用も始めましたが苦しい経営が続き、現在は業者も参入しています。

農業利用は課題も多いが循環型への試行も始まり、今後は6次産業の取り組みなどが大切との感想を持ちました。

【青森県八戸市】

八戸市は、国の制度である中山間地域等直接支払制度へ積極的に取り組み、ある集落では学校との連携で自然観察会を実施。水田の持つ多面的機能などを子どもたちに理解してもらうことで、農業と郷土に対する愛着を持ってもらうことが目的であり、新しい視点で取り組む姿勢には学ぶ点があると感じました。

【若手県葛巻町】

葛巻町は、酪農と林業の町であり、処理に苦慮していた広葉樹や樹皮の利用、乳牛の排泄物を利用してのバイオマス発電、風の強さをいかした風力発電など、新エネルギーを利用した産業振興に取り組み成果を上げていました。未活用資源の再利用という発想が新エネルギーへの原点であります。

今回、地域資源の掘り起こしが地域の生きる道といった危機感にも似たものを感じ、両市町の事業は注目すべきとの感想を持ちました。



(青森県八戸市)

次のページ ちよっと一言。

編集後記ほか



なかふじ せいこ
中藤 聖子さん
(高松)

花巻市の未来へ
ちょっと一言。



さとう あみ
佐藤 亜美さん
(花北青雲高校3年)

力を尽くした先人たちを想う

花巻に生まれ育ち、そして暮らす年月の内にはさまざまな出来事も目にしてきました。実家のすぐ近所に花巻空港ができ、2代目のターミナルビルに建て替わりました。高速道路が建設されて、釜石道は復興の支えとして沿岸まで全通し多くの人や物が行き来します。

新幹線の新花巻駅はこの土地に住む多くの人の熱意と働きで実現しました。日々暮らすなかで身近にあり、すっかり当たり前になっていくいろいろな物が、どれだけの年月と人々の努力の末に今あるかを思うとき、感謝の気持ちを忘れずに、日々の暮らしを送っていききたいと思うのです。

ゆめの花巻市

私は、人との交流が盛んな花巻市になってほしいと考えています。特に私は、県内唯一の空港があることを生かし、海外との交流を深めるのが良いと思います。異文化を学ぶことは新たな発見により日常生活に刺激をもたらしてくれます。また、花巻について教える際には改めて花巻の魅力や特色に気付き、郷土愛を育む

きっかけにもなるでしょう。市民の方はもちろん、花巻を訪れた方々に花巻の良い所だと思ってもらえたら、さらなる花巻の活性化につながるかと考えています。将来はさまざまな地域の人と交流し、多くの人で賑わう元気な市になることが私の思う夢のあるまちです。

議会中継もスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンでも視聴ができます。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した本会議の音声を放送しています。

議会傍聴にぜひお越しを！

【12月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数104人

【3月定例会】

2月28日(金) 開会
詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。
議会事務局 ☎24-2111(内線310)

編集後記

今議会における議案は、会計年度任用職員に関する条例、避難支援等関係者へ避難行動要支援者を正確に伝えるための条例、笹間保育園の民営化と浮田保育園の廃止、花巻市所有施設の指定管理者の指定が主な内容でした。

少子化、高齢化は花巻市だけの問題ではありませんが、食い止める方法はないか等日々考えております。

昨年10月の議会報告会では貴重なご意見を多数いただきましたので、2月の議会報告会でもぜひ皆様のご意見をお聞かせください。
(佐藤 現)

【広報広聴特別委員会】

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 瀬川 義光 |
| 副委員長 | 藤井 幸介 |
| 委員 | 久保田 彰孝 |
| 委員 | 羽山 みるみ |
| 委員 | 佐藤 峰樹 |
| 委員 | 佐藤 現 |
| 委員 | 伊藤 盛幸 |
| 委員 | 若柳 良明 |
| 委員 | 盛岡 耕市 |